

【執筆規定】

1.論文の構成

- 1) 標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。用語は本文に用いた言語とし、キーワードを含むように配慮する。
- 2) 著者名：著者は、当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限にし、最終原稿にのみ記載する。
- 3) 最終原稿にのみ著者所属名を記載する。
- 4) キーワード：表題及び本文より抽出する。
- 5) 本文

①はじめに（序論、緒論）

研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明示などを記述する。

②方法

用いた研究方法について第3者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。

③結果（成績）

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。

④考察（分析）

研究で得られた結果から論理的に推論できる範囲で記述する。

⑤結論

研究で得られた結論を 200～300 字で簡潔に記述する。

⑥利益相反

利益相反の有無について記載する。

⑦謝辞

著者資格には該当しない研究への貢献者、及び助成金受給については謝辞に記載する。

- 6) 文献：引用文献は、必要最小限にとどめること。

2.投稿原稿の構成

表紙頁、本文、文献、図表、図表の説明文で構成する。

3.原稿の規定分量

本文、文献、図表を含んで原則として刷り上がり 5 頁（400 字詰め原稿用紙 25 枚・10000 文字相当）以内で作成すること。

4.表紙頁

論文には表紙頁をつける。表紙頁には、表題、著者名、協会会員番号、所属名、責任著者連絡先（郵便番号・住所・電話・E-mail）、キーワード、本文ページ数を記載する。

5.本文

原則福島県理学療法士会のフォーマットを使用し 2 段組みにて作成する。

- 1) フォントは題名 14 ポイント、執筆者・所属・キーワードは 10.5 ポイント、本文は 9 ポイント、字体は MS 明朝体を使用して下さい。見出し語は 9 ポイント、MS ゴシック体を使用する。

- 2) 単位は国際単位系（SI 単位）を用いる。

- 3) 本文中の句読点は全角の「，」と「。」で統一する。

- 4) 本文中の引用文献の数字は半角上付きとする。

5.図表

図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に、それぞれ一連番号をつける。図の番号および表題は図の下に、表の場合は表の上に付ける。図表の説明（キャプション）は図表の後に記載し、ファイルとして添付するほか、本文に挿入レイアウトを整えること。

本学会誌は Web 掲載となるため、挿入される図表はカラーとなる。

6.文献

引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、西暦年号、巻、頁（最初 - 最終）、の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、編集者名、発行所名、西暦年号、頁を記載する。引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合は最初の 2 名を記載する。その他は、他または et al. とする。

例

- 1) 高橋佑太,小島史嗣,他：胸腔鏡下肺切除術後患者における身体活動量の推移と関連因子. 理学療法学, 2018, 41 (1) : 1-8.

- 2) 横田敏勝：臨床医のための痛みのメカニズム. 南江堂, 2001, 15-18.

- 3) Magnusson SP, Simonsen, et al.: Biomechanical responses to repeated stretches in human hamstring muscle in vivo. Am J Spor Med, 1996, 24: 622-628.

7.略語

略語はフルスペルあるいは和訳も記載する。

8.機器名の記載法

機器名は「一般名（会社名、製品名）」で表記する。なお統計ソフトは「製品名、バージョン番号とする。